

合格率は低調
74.25%

厚生労働省は4月6日、「第91回薬剤師国家試験」の合格者を発表した。3月11、12の両日、東京、大阪、愛知など全国8カ所で行われた。受験者数1万1046人に対し合格者数は8202人、合格率74.25%は前年より10.14ポイントも低い数字である。合格率が70%台に戻ったのは2年ぶり、過去10年間で比較すると、1998年(第83回)の72.74%に次ぐ低い水準となった。新卒者だけに限って見ても85.16%で、前年の93.29%に比べ、8ポイント近く下がっている。大学別合格率では、最も高かったのが福山大学の90.76%で、全大学の中で唯一9割を超えた。

前年を10ポイントも下回る

厚労省 薬剤師国試合格者を発表

合格者名簿と照合する受験者(厚労省講堂)



今年の国家試験では出願者は1万2189人いたが、実際に受験した人の数は1万1046人であった。出願しながら受験しなかった人が、出願者の約1割に当たる1143人もいたことになる。

合格者数を男女別に見ると、男性が受験者4647人に対し合格者は3112人、合格率は66.97%で、前年の78.12%に比べ11.15ポイントの低下である。女性は6399人が受験し5090人が合格、合格率は79.54%で、前年の88.88%より9.44ポイント下がったものの、男性の合格率に比べると12.57ポイントも上回った。また、合格者数の男女比は、男性が37.94%、女性が62.06%で、女性が合格者全体の6割強を占めている。

「新卒」「その他」の区分で合格者数を見ると、新卒が受験者8455人のうち合格者が7200人、合格率は85.15%で前年の93.29%より8.14ポイント低い。既卒者等のその他は2591人に対し1002人で、合格率は38.67%に

とどまり、前年の58.50%と比べても、19.83ポイントもの大幅な低下となった。

新卒者優位は例年の傾向であるが、両者の開きが46.48ポイントに広がるなど、新卒・既卒で合格率の格差が拡大した点が、今回の特徴とも言える。

9割以上は福山大のみ 相変わらず低い国立大

大学の設置主体別では、国立が受験者1514人に対し合格者が1024人、合格率は67.64%(前年は78.04%)、公立が受験者423人で合格者は305人、合格率72.10%(83.40%)、私立が受験者9088人に対し合格者6869人で合格率は75.58%(85.63%)。私立系が高く国立系が低い傾向が、今年も続いた。

合格率を大学別に比較すると、合格率が高かったのは①福山大学(90.76%)②近畿大学(88.82%)③共立薬科大学(87.16%)④北海道

大学別合格状況

大学名	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
北海道大学	95	66	69.47%
東北大学	107	70	65.42%
千葉大学	109	83	76.15%
東京大学	110	56	50.91%
富山大学	139	98	70.50%
金沢大学	110	71	64.55%
京都大学	126	74	58.73%
大阪大学	112	63	56.25%
岡山大学	100	81	81.00%
広島大学	76	61	80.26%
徳島大学	98	80	81.63%
九州大学	105	64	60.95%
長崎大学	104	77	74.04%
熊本大学	123	80	65.04%
国立計(14)	1,514	1,024	67.64%
岐阜薬科大学	147	111	75.51%
静岡県立大学	149	118	79.19%
名古屋市立大学	127	76	59.84%
公立計(3)	423	305	72.10%
北海道医療大学	195	158	81.03%
北海道薬科大学	190	164	86.32%
東北薬科大学	511	383	74.95%
城西大学	367	274	74.66%
東邦大学	283	236	83.39%
北里大学	326	277	84.97%
共立薬科大学	218	190	87.16%
昭和大学	244	195	79.92%
昭和薬科大学	338	275	81.36%
東京薬科大学	539	365	67.72%
東京理科大学	202	164	81.19%
日本大学	220	167	75.91%
星薬科大学	304	251	82.57%
明治薬科大学	428	367	85.75%
帝京大学	389	269	69.15%
新潟薬科大学	166	137	82.53%
北陸大学	364	264	72.53%
名城大学	332	270	81.33%
京都薬科大学	429	332	77.39%
大阪薬科大学	345	283	82.03%
近畿大学	161	143	88.82%
摂南大学	267	218	81.65%
神戸学院大学	210	179	85.24%
神戸薬科大学	311	246	79.10%
武庫川女子大学	219	180	82.19%
福山大学	184	167	90.76%
徳島文理大学	265	218	82.26%
第一薬科大学	809	276	34.12%
福岡大学	272	221	81.25%
私立計(29)	9,088	6,869	75.58%
その他(認定)	21	4	19.05%
総計	11,046	8,202	74.25%

薬科大学(86.32%)明治薬科大学(85.75%)の順であり、上位は私立大学が独占した。しかし私立29大学のうち、前年は11大学が合格率90%台を誇っていたが、今回90%を超えたのは福山大学1校のみだった。

逆に合格率が低かった大学は、①第一薬科大学(34.12%)②東京大学(50.91%)③大阪大学(56.25%)④京都大学(58.73%)⑤名古屋市立大学(59.84%)と続いている。東大、京大などが低いのも例年の傾向だ。

一方、厚労省は合格者発表と合わせ、国家試験の合格基準と正答を公表し、ホームページに掲載した。配点は1問2点で480点満点。

薬物療法の安全性と
地域医療の向上のために...

望星薬局

私たち望星薬局は人々の健康で幸福な社会生活を願い、安全で有効な薬物療法のため、たゆまぬ努力を続けています。

募集要項
募集職種：薬剤師資格取得予定者または薬剤師有資格者(修士を含む)
初任給：※平成17年度年収実績365万円以上(大卒)、385万円以上(修士卒)
交通費：全額支給
休日：4週6休、祝・祭日、特別休暇(年6日)、年末年始(6日)、慶弔、有給休暇(10~20日)
昇給：年1回 賞与：年3回(5ヶ月) その他：各種福利厚生、教育研修、学会発表

※採用に関するお問い合わせ先：人事課/浦本太一郎 E-mail:jinji@bohseipharmacy.com TEL:0463-91-4193



株式会社 望星薬局

本社：〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-1-28
TEL：0463-91-4193 FAX：0463-91-8966
URL：<http://www.bohseipharmacy.com>

望星薬局ネットワーク

- 望星薬局 〒259-1143 神奈川県伊勢原市下糟屋96-2 TEL.0463(94)4193
- 望星本町薬局 〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原3-2-4 TEL.0463(92)1193
- 望星沼目薬局 〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-16-25 TEL.0463(92)4193
- 望星おね薬局 〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名1-2-1 TEL.0463(76)4193
- 望星洗沢薬局 〒259-1321 神奈川県秦野市曲松2-1-38 TEL.0463(87)4493
- 望星秦野薬局 〒257-0012 神奈川県秦野市立野台1-2-4 TEL.0463(85)1193
- 望星大磯薬局 〒259-0114 神奈川県中部大磯町月京30-18 TEL.0463(71)9341
- 望星平塚薬局 〒254-0062 神奈川県平塚市富士見町8-44 TEL.0463(33)1193
- 望星春日台薬局 〒243-0302 神奈川県愛甲郡愛川町春日台3-6-42 TEL.046(286)4193
- 望星横浜みどり薬局 〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場1726-13 TEL.045(989)4193
- 望星築地薬局 〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 TEL.03(3541)1193
- 望星代々木薬局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-3-5 TEL.03(3370)1301
- 望星西新井薬局 〒123-0841 東京都足立区西新井6-46-16 TEL.03(5691)1193
- 望星北浦和薬局 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-9 TEL.048(822)9381
- 望星水戸薬局 〒310-0026 茨城県水戸市泉町2-3-2中央ビル6F TEL.029(222)1193

合格基準では、▽問題の難易を補正し、計算して得た総得点312点（65%）に対応する実際の総得点（試験ごとに異なる）以上の得点▽各科目の得点が全て35%以上—という2つの条件を満たした者が合格となる。

問題の難易補正とは、正答率と識別指数の

低い問題の得点を調整して計算すること。識別指数とは、ある設問が成績の良い受験者（上位25%）と悪い受験者（下位25%）を、効率的に識別する能力があるか否かを示す指標であり、上位者・下位者とも全員正答の場合は「0」、上位者が全員正解し下位者が全員誤答であった場合は「+1」、逆

に上位者全員が誤答で下位者全員が正答であった場合は「-1」とする。

また、基礎薬学で電磁波の波長・波数領域と分析法の組み合わせを聞いた問25、医療薬学で抗菌薬の作用機序を質問した問144に不適切な記載があり、正解となる選択肢がなかったという。これら2問は、全員を正解として採点したという。

**不適切な出題が2問
合格基準・正答を公表**

第91回薬剤師国試の総評

日本医歯薬
研修協会 赤坂 佳信

薬剤師国家試験の出題基準は、定期的（ほぼ5年ごと）に改定される。近年では第90回試験の際に改定された。従って今年の国家試験は、改定後2度目のものである。今年度から薬学は6年制へと新しい一歩を踏み出している。従来の4年制カリキュラムによる国家試験は残り僅かであり、現行出題基準の間に免許を取得することが賢明と思われる。

出題数が200題から240題へ増えた第81回から今回まで延べ11回の傾向は、科目にとらわれずいかに知識を関連させることができているかに、重点が置かれてきたように思われる。現場に出た後はさらに幅広い応用力が求められることから、国家試験もその資質を問うようになったものと考えている。昨年（平成17年）の国家試験は例年になく過去問題も目立ち、得点しやすい傾向にあった。実際に合格率も、84.39%という高いものだった。では、今年の試験はどうであったろうか。

確かに部分的に見れば、得点し難い傾向の分野もあったが、極端に難易度が高まったとは思えない問題であった。しかし、合格率は近年では一番低い74.25%という結果となった。この要因はどこにあるのか。先に結論を述べるならば、出題内容ではなく、出題の形式にあると思う。

同じことを質問していても、出題形式が全般的に新しいパターンが多かったように思われ、それに動揺した受験生が多かったのではないだろうか。受験生に必要なのは、暗記力ではなく「応用力」である。

いかに理解できているのか、受験生の力を問う傾向が年々強まっている。当然、時事にも明るくなければならず、多くの科目で社会的に注目されている内容が出題されていた。

基礎薬学の有機化学の範囲であっても、単に従来の知識だけを問うのではなく、日本薬局方収載の医薬品合成経路や、生体成分に関連させて出題している。昨年は過去問題が目立った関係から、特に今年は難しいと感じ、得点できない受験生が多かったものと推察する。ただ、総合的に難易度が高い問題ではなく、物理化学・分析化学・生化学・機能形態・分子生物学・遺伝子工学などは、例年通りの難易度で得点しやすかったと思っている。

衛生薬学は、例年通り時事問題を含めた幅広い出題範囲で、簡潔な設問が多く得点しやすい。予想された通りの出題であったが、部分的に10年以上前の形式を踏襲した設問も見られ、受験生は新鮮に感じたのではないか。衛生薬学は単に暗記で済むと誤解されがちな科目であるが、生活に密着しているため、理解できれば割合得点を稼げるものの、理解が不十分だと落とし穴に落ちる。

法律・制度の動きに留意

薬事関係法規及び薬事関係制度は、例年に比べ新規問題の出題が多く見られた。その1つとして法令及び制度の新設、または改正に絡んだ問題が挙げられる。従来は法改正等を出题する場合、改正内容が周知されるまでの間（施行から1年以上）は、出題を控える傾向が見られた。

しかし今年は、昨年4月1日より全面施行となった「個人情報保護法」、段階的に改正が進められた「薬事法」に関連する問題が、全部で4題出題された。そのため、法律の新設、あるいは改正部分の学習が手薄であった受験生には、厳しい科目であったと言える。

また第2点として、調剤報酬点数表に関する問題は今までも出題されているが、今年は

実際の処方例を挙げ、実践的な算定に関する問題が出された。この科目の知識は、薬剤師にとって基礎的、かつ他分野とも密接したものであり、6年制開始に伴い、より実践的な問題が今後も増加するのではないかと推察する。

医療薬学は薬理学・物理薬理学・薬物動態学・製剤学・疾病と治療・薬剤師業務など幅広い分野である。薬理学では過去問題のモディファイが多く出題され、過去問題が理解できていれば簡単であった。また、難易度の高い設問も見られたが、その様な問題の場合は選択肢の組み合わせから解答できるものもあった。ただ治療に係わる問題が増えていたが、これは意識的ではないだろうか。

疾病と治療の範囲では、6年制を意識しているためか、臨床実地問題（臨床問題）が増加し、臨床で働いている者にとっては有利な出題であった。また、この分野も例外ではなく、時事問題としてパニック障害や偏頭痛などの出題も見られた。

製剤学は例年に比べ出題数が少なく、難易度にムラが見られた。選択肢もすべての正誤が判断できなければ、選べない設問が増えていた。

薬剤師業務は出題数に変わりはないが、新しい記述が多めに題出されていたため、難易度も高いといえる。

物理薬理学・薬物動態学では、特に後者でデータから導く計算問題が多いため、時間配分に悩まされたと思われる。両者とも基本を押さえれば、回答できない問題ではない。

最後に、今の国家試験を制覇するためのポイントの一つ。前述した通り、何よりも応用力を付けることだろう。では、応用力をどのように身に付けるのか。それは語句の意味、あるいは存在する意図、意義を把握することである。単に暗記するのではなく、意味を知る勉強をしてもらいたいと思う。まず、全体の流れをつかむことが肝要だと思う。

関連つけた知識修得が肝要

問われる幅広い応用力

出題形式に新しい傾向も

増加した臨床直結の問題

**日本全国の地域医療の
貢献に積極的に歩みつづけています。**

充実した教育制度で薬剤師のキャリアアップをサポート。
全店舗に展開された自社開発のシステムで、薬剤師の判断と
日々の業務をサポート。

**調剤報酬高全国1位の実績は、
患者様からの信頼の証です。**

日本調剤株式会社

〒104-0028
東京都中央区八重洲2-8-1 日東紡ビルディング10階
TEL:03-3510-6131 FAX:03-3510-6140
URL:http://www.nicho.co.jp
関連会社：日本調剤ファルマスタッフ株式会社、日本ジェネリック株式会社

